

4月14日(日)

長崎県産釣りの甘鯛、山口県産天然桜鯛入り

すし盛り



1パック(8カン)

1,280円(税込)



西田鮮魚店

☎72-5246

御用聞き便専用番号 ☎090-7125-5489 (旧庄原市内はご自宅に配達)

御用聞き便ポイントカード 火・水曜日ポイント2倍

今週もギリギリ迄なにかあるか? わからな
い広告作り。このピリピリ感とドキドキ感。やみ
つきになります(笑)。
そして何か魚あれよ!と願う自分。天候や風
に左右される市場。また広告に必要な数が揃う
かどうか? ほんとドキドキです。
先日いつものように魚を探し歩いてると、や
たら甘鯛が視界に入ってきて、甘鯛美味しんよ
と言わんばかりに甘鯛が並んで思わず言っ
てしまふ。決めセリフ(全部ちやうだい! 甘鯛。勝
手に自己満足。そしてこの瞬間気持ちいい!
(笑))

甘鯛はもちろん身は甘く、柔らかい。なかなか
入荷しない高級魚!そして天然桜鯛も産卵前
で1年で1番美味しい季節で脂のノリも抜群な
んです!

このすし盛りを食べてもらいたいと思ひ、今回
長崎県産釣りの甘鯛、山口県産天然桜鯛入り
すし盛り8カンを販売します。今しか味わえない
ですよ! 200パックのみの販売となります。価
格は税込み1280円。

さあ! いっしょに、いっしょに! スタッフ
一同お待ちしております!

西田鮮魚店 店長 祐宗 優司

『魚の日』の広告のちよつとした裏話』

鮮コーポレーション(株) 代表取締役会長 西田 昌史



西田鮮魚店の毎月第二火曜日は『魚の日』だ。目玉商品は『7貫500円のにぎりずし』。そして『ミートファクトリーお肉の工場直売所あんずの肉』

火曜日のジョイフルにお客様は少ない。オープンした45年前から火曜日は定休日だったから、そのごりだろが、習慣というものは恐ろしい。「年中無休です」といくら叫んでも、お客様は増えない。みんなあきらめた。

ジョイフルはショッピングセンターだが、一方で元の本通り商店街が移ってきたものだともいえる。西田鮮魚店も『市役所前通り商店街』からではあるが移ってきた。言ってみれば『ジョイフルながえ商店街』だ。年を経るごとにそういう思いが強くなる。

商店街なら、『ジョイフルながえ』というショッピングセンターは年中無休でも、中に入るそれぞれの店は休みがあってもいいのではないかと理屈も成り立つ。ということで、火曜日の営業は自由ということになった。それまでは、第二火曜だけが全店休業だった。すると、ますます、火曜日、とくに第二火曜日のジョイフルはさびしくなった。「どうにかせにゃあ」。

2年前に五日市と東広島で『ミートファクトリー お肉の工場直売所 あんず』という肉屋を始めた。宮崎牛を中心に豚や鶏を揃えている。ホントにたくさんのお客様さまに来ていただいている。

この店の人気の秘密を、ひと言で言えば『良い肉が安い』ということだ。店に行ってみてもらえばわかると思うが、「えっ?この肉が、この値段?こんな良い肉が」という顔をされるお客様が多い。初めてのお客様は、たいていそうだ。そして、ここが大事だが、家に持ち帰って食べてみてわかる。「うまつ。どこで買ったん?」

「五日市の石内バイパスところに『ゆめマート』があるじゃろ、その横に肉屋さんできたんよ。いつもお客様が多いけえ行ってみたんよ。その肉。看板に牛の絵が書いてあって、肉の工場直売所なんじゃと。」

そんな店だが、この店では毎月29日に『肉の日』というイベントをする。店頭で TENT を張って試食販売をしたり、それだけでなく薄利の肉の一部を、さらに値を下げて買ってもらう。

そして、この『肉の日』の一番の人気商品は『焼肉弁当』だ。いつもは980円で売っている。ごはんの上に、宮崎牛の切り落としがたっぷりのっている。タレがまたいい。マジうまい。

『肉の日』は、この超人気の『焼肉弁当』を半額以下の480円で買っていた。但し、200個限定、お一人様2個までで勘弁していただく。すると、この日は朝10時の開店前から長蛇の列ができるほどの騒ぎになる。時には、あまりにお客様が多くて、あつという間に完売してしまったので、申し訳ないと、急ぎよ200個、追加したこともあるそうだが。

そういう様子を見ていた私は、はたと思いついた。「そうじゃ、新鮮市場でも、これをやってみよう」。

祐宗店長に相談した。

私 「今度、『魚の日』をやるうやあ。『肉の日』のような」
祐宗 「いいですね」

私 「第二火曜日はどうじゃろ?」

肉は2と9の語呂合わせで29日がいい。しかし、魚の語呂合わせは、ちよつと難しい。そこで、私は考えた。やるなら火曜日。しかもいちばんお客様の少ない第二火曜日。「これじゃ、これしかない」これで、「どうにかせにゃあ」と思っていた第二火曜日が忙しい日になる、はずだ。

祐宗 「いいですねえ」

私 「何を目玉にする?」

突然言われるのだから、祐宗店長は答えようがない。

私 「500円寿司はどうじゃろ?」

時折、日曜日のチラシに『寿司7貫500円』を載せる。これが大好評。一日1000個売れたこともある。私としては、『焼肉弁当』の人気に匹敵するのはこれしかないと思っていた。問題は、ほとんど利益がないこと。

でもまあ、月に一回だ。ミートファクトリーにならつて、その分、200パック限定にさせてもらおう。できるだけたくさんのお客様さまに買っていただけるように、お一人様2パックとさせていた。どうということにした。

祐宗 「わかりました。やってみます。」
もう一つ追加して言った。

私 「ミートファクトリーの肉も売ってみるか」

祐宗店長は、なんでもやってみたい、挑戦したいという男だ。祐宗 「わかりました。小林部長と相談してみます」

『魚の日』なのに肉を売る?言った私も、おかしいと思ったが、お客様には喜んでいただけるはず。名称を変えてもいいのだが、たぶん、誰も気にしちやあない。「ええ、ままよ」。

こうして第二火曜日の『魚の日』が始まった。

思った以上のお客様さまに来ていただいた。これまでの第二火曜日の倍くらいのお客様さまに来ていただいている。不思議なもので、ほかの火曜日もお客様が増えた。

それが、この4月9日(火)の『魚の日』の広告から『寿司7貫500円』が消えていた。祐宗店長に聞いた。「どうして?」祐宗 「9日は入学式が多いんです。で、寿司の注文がたくさん入ってるんで、500円の方まで手が回らんです。それに:。」

私 「そうか、でも、あれは、『魚の日』のいちばんの目玉商品じゃけえ、楽しみにしとつてのお客様さまもおつてん

じゃけえ、やろうやあ。
で、原価はどれくらいかかるん?」

祐宗 「〇〇〇円です」

私 「ん〜〜〜」。

そうか、赤字か。魚も高うなつとるけえのう。まあ200個だけじゃし一日じゃけえのう」

4月9日のチラシに『寿司7貫500円』が復活した。これからは必ず:。」

予告 4月9日(火) 当店ののみ なみかポイント 3倍

鯛ブロック (刺身用) 1パック 1,000円(税込)	大人気ねぎトロ丼 30円 1パック 780円(税込)
サーモンブロック (刺身用) 100g 380円(税込)	寿司7貫 500円(税込) 限定200パック
国産塩さば 1尾 1,200円(税込)	
塩鮭 (甘口) 1パック (4切) 780円(税込)	

毎月第2火曜日開催

当日お買得商品満載です。数に限りがございますので、お早めにお来店お待ちしております。

ミートファクトリーより 宮崎牛 切り落とし 100g 350円(税込)	宮崎牛 ころねスライス 100g 498円(税込)
とことん豚 ロースとんかつ用 100g 250円(税込)	宮崎牛 パラスライス 100g 498円(税込)
	博多餃子 (1kg50個入り) 1袋 1,080円(税込)

西田鮮魚店 72-5246

LINE お友達募集中 ID:802bzvqv